



# 檜原チャレンジ! 一歩へ

下郷町立檜原小学校

学校だより No.37

令和2年12月21日

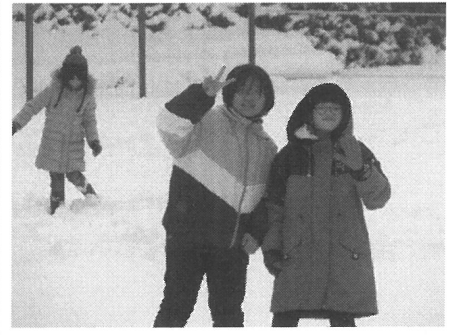
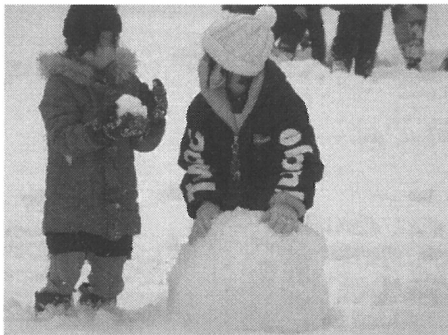
文責:校長 酒井 健

## ◇雪模様の1週間でした。

昨年度とは違い、先週の1週間は毎日、雪模様の1週間となりました。朝は、校舎裏、子どもたちの通る歩道の雪かきで1時間ほどかかり、朝のスタート時は体はポッカポカ、足腰はコリコリの状態でありました。週末、20日の午前中に郡山から下郷に戻ってきた時は、郡山→高速→白河→甲子→下郷のルートで来ましたが、途中、道路は圧雪・凍結状態、雪が風に飛ばされ、途中5回ほど「ホワイトアウト」に遭い、とっても「危ない」と感じました。

保護者の皆様も、出退勤時、十分にご注意ください。雪に慣れていない私が言うのもおかしい話なのですが・・・。

雪が降って、大喜びしているのは子どもたちです。休み時間になると、校庭に出て、雪だるまを作ったり、雪合戦をしたりするなど、大いに、積雪を楽しんでいます。



子どもたちは本当に「風の子」・・・元気ですね。子どもたちの雪と戯れている姿を見ていると、微笑ましく感じ、気温は低いのですが、心の中が温かくなります。

また、体育委員会の子どもたちを中心に、校庭の除雪を頑張ってくれました。登下校に全校生が通る道をつくってくれたのです。何とも頼もしい姿です。心から「ありがとう」です。



### 【ご注意を!!】

下郷町においても、各住宅の屋根にはたくさんの雪があり、落雪の危険があります。また、大きなつららが何本もさがっている場所も見受けられます。学校でも十分に指導をしていきますが、ご家庭でも、子どもたちへの注意喚起をお願いいたします。

### 校長のひとりごと

長かった2学期も、いよいよ終わり、今週24日(木)からは、子どもたちが楽しみにしている冬休みが始まります。自分が小学生の頃は、郡山市も今とは違って、雪の量が多かったように思います。冬休みには、近所の坂道や近くの神社の境内にある小山に出かけ、手や耳を真っ赤にしなが、友だちとミニスキーやそりで楽しみ、帰りには、いつもの駄菓子屋によって、熱々のおでんを食べるのが日課でした。おでんといっても大きな鍋に入っている「さつま揚げ」・・・値段は一串10円、今考えると安全な食べ物だったのかどうかも分かりませんが、冷たくなった身体には、素晴らしいごちそうでした。50年近く経過した今でも、友だちと楽しく食べていた、そのおでんの味は忘れられません。

今では、冬休み、表で遊ぶというよりも、家の中で、ゲーム、動画、PC・・・といった感じでしょうか。ゲームなんてなかった時代、さつま揚げで喜んでた時代、そんな時代が幸せだったのかもしれない。

